

<b>Course number</b>		U-LAS21 20005 SO48					
<b>Course title (and course title in English)</b>		ドイツ語II ( 6 Hコース ) D2501 Intermediate German		<b>Instructor's name, job title, and department of affiliation</b>		Graduate School of Human and Environmental Studies Visiting Lecturer,TRAUDEN , Dieter  Part-time Lecturer,SHIMA NORIO	
<b>Group</b>	Languages		<b>Field(Classification)</b>				
<b>Language of instruction</b>	Japanese and German		<b>Old group</b>	Group C	<b>Number of credits</b>	12	
<b>Number of weekly time blocks</b>	3	<b>Class style</b>	Seminar (Foreign language) (Face-to-face course)		<b>Year/semesters</b>	2025 ・ Year-round	
<b>Days and periods</b>	Mon.5 ・ Wed.5 ・ Thu.5	<b>Target year</b>	2nd year students or above		<b>Eligible students</b>	For all majors	
<b>[Overview and purpose of the course]</b>							
<p>ドイツ語を効率的に学んでいく週3回のドイツ語集中コースです。ドイツ語を学ぶ外国人向けにドイツで作られた教科書を用いて、ドイツ語の Native Speaker ( 月、水 ) と日本人教員 ( 木 ) とが連携して授業を行います。</p> <p>各課で設定されている具体的なテーマや状況の中で必要となる実践的なドイツ語能力を「読み・書き・聞き・話す」という4技能に渡って総合的に練習していきます。生のドイツ語にできるだけ触れていくことで、ドイツ語に慣れるだけでなく、ドイツ語圏の日常生活や文化などもより身近に感じられるようになると思います。</p>							
<b>[Course objectives]</b>							
<p>ドイツ語I の「6時間コース」から継続する科目ですが、それを履修していなくてもドイツ語I の学力とやる気があれば大歓迎です。京都大学には国際交流協定を結んでいるドイツ語圏の大学がありますので、ドイツ語圏への留学を考えている人は、是非このコースに積極的に参加してみてください。</p> <p>ヨーロッパ言語共通参照枠基準 ( CEFR ) A2-B1レベルの語学力を身につけることが目標です。</p>							
<b>[Course schedule and contents)]</b>							
<p>週3回の一貫コースであり、部分的な受講はできません。また通年科目である点にも注意してください。</p> <p>教科書は、ヨーロッパ言語共通参照枠基準 ( CEFR ) のA1-B1レベルの内容が一冊にまとめられているものを用います。全部で34課あり、ドイツ語I では前半 ( 第1課-17課 ) を、ドイツ語II では後半 ( 第18課-34課 ) を原則として扱います。</p> <p>教科書に登場する具体的なテーマ・場面設定は、以下の通りです。</p> <p>18課：外出、人と会う  19課：地方から都会へ  20課：文化を体験する  21課：職業の世界  22課：祝祭  23課：すべての感覚を使って  24課：アイデアや発明  25課：時間</p>							
<div style="text-align: right;">Continue to ドイツ語II ( 6 Hコース ) D2501(2)</div>							

## ドイツ語II ( 6 Hコース ) D2501(2)

26課：日常生活  
27課：男性－女性－ペア  
28課：変化する仕事  
29課：学校と学び  
30課：気候と環境  
31課：気まずい！  
32課：世代  
33課：移民  
34課：ヨーロッパ

教科書は、前期で前半の8課（18-25課）、後期で後半の9課（26-34課）を扱う計画でいます。進め方の目安として、おおよそ1-2週間で1課を終える予定を考えています。Native Speakerの教員が担当する授業は原則としてドイツ語で行い、日本人教員の授業でその補足説明を行ったり、質問に答えたりします。また、日本人教員の授業では、必要に応じて補助プリントを配布するなどして、着実にドイツ語の力が身につくように進めていきます。

### [Course requirements]

Refer to "Handbook of Liberal Arts and General Education Courses".

### [Evaluation methods and policy]

原則として、授業への参加度（50％）および学期末試験（50％）に基づいて成績評価を行います。学期末試験は、Native Speakerの教員による口述試験と、日本人教員による筆記試験を行います。

### [Textbooks]

Hermann Funk und Christina Kuhn 『studio express. Kompaktkurs Deutsch. Deutsch als Fremdsprache Kursbuch A1-B1』（Colnelsen）ISBN:978-3-06-549970-5

### [References, etc.]

（References, etc.）

Introduced during class

### [Study outside of class (preparation and review)]

- ・まずは復習が重要です。教科書の会話はインターネットで入手できるので、授業以外でも聞いてください。新しい外国語を身につけるには、とにかく慣れることがいちばん効果的です。
- ・予習が必要な場合は、事前に指示しますので、十分事前準備をして、分からない部分を見つけ出しておいてください。
- ・第1週目の授業では、これまでの復習を簡単に行い、今後の学習につなげていきます。

### [Other information (office hours, etc.)]

各担当教員のオフィス・アワーは、初回の授業時に伝えます。

### [Essential courses]